

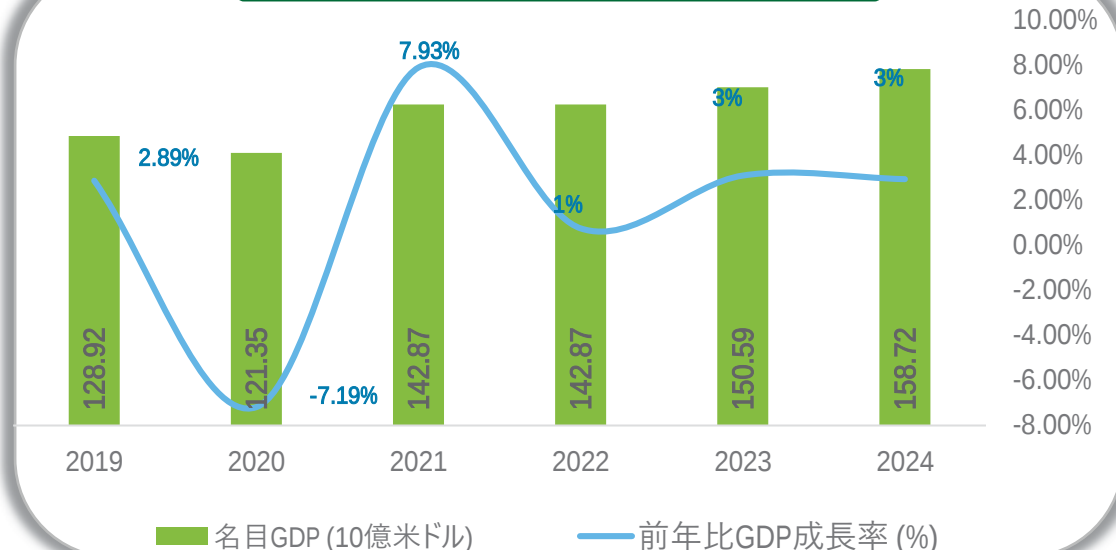
穀物の輸出好調を背景にモロッコ経済は2021年に7.93%という高いGDP成長を記録した。2022年の6.6%という高いインフレ率は、2023年までには沈静化すると予想されている

人口動態統計と推計

モロッコ:人口動態統計

基準	値
人口	3,710万 (2021);
公用語	モロッコ・アラビア語
実質GDP	1,327億3,000万米ドル (2021年)
実質GDP成長率	1.0% (2022推定値) 3.0% (2023予測)
1人当たりGDP (名目)	8,143米ドル (2021)
FDI流入額 (対GDP比)	2.2% (2022) 2.7% (2027予測)
CPI/インフレ率	6.6% (2022) 1.2% (2023予測)
失業率	11.4% (2022)
貧困線以下の人口	4.8%(2013)
財政赤字 (対GDP比)	6.46 (2021 推定値) 6.29 (2022 推定値)
公的債務 (対GDP比)	82.551% (2021)

経済見通し



- **GDP**：2021年には成長が見られたが、これは2年連続の干ばつの後の例外的な穀物作物、堅調な輸出と送金、マクロ経済政策、COVID-19ワクチン接種の進展によるものである。2022年の実質GDPはロシアによるウクライナ侵略と農業生産の低迷により減少した
- **インフレ率**：インフレ率は特にエネルギーと食料におけるインフレ圧力の影響を受けた2022年に6.6%を記録したが、2023年には沈静化すると予測される

出典:EIU Economic Indicator

世界銀行 (<https://data.worldbank.org/indicator/SI.POV.NAHC?locations=MA>) (<https://data.worldbank.org/indicator/NY.GDP.MKTP.CD?end=2021&locations=MA&start=2021>)

Statista (<https://www.statista.com/statistics/502824/morocco-budget-balance-in-relation-to-gdp/>)、(<https://www.statista.com/statistics/502797/gross-domestic-product-gdp-in-morocco/>)、

122 (<https://www.statista.com/statistics/502792/gross-domestic-product-gdp-growth-rate-in-morocco/>)

© 2023. For information, contact Deloitte Tohmatsu Group.

モロッコ料理は主にベルベル（北アフリカ先住民族）文化、アラビア文化、ヨーロッパ文化の影響を受けている

文化的・宗教的慣習と食品に関する注意事項

- モロッコは人口の99%をシーア派が占めており、その他1%はキリスト教徒、ユダヤ教徒、バハイ教徒などの少数派で構成されている

主食

- モロッコ料理はアラブ、ベルベル、オスマン、ヨーロッパの各文化の影響を受けている
- クスクスはこの国の主要な主食であり、モロッコの国民食でもある
- その他の一般的な料理としては、タギナ、ハリラ、バスティージャがある
- モロッコは魚の一大生産・輸出国であり、国内ではイワシ、サバ、メルルーサ、シラミ、ヒラメ、パンドラ、タイなどの消費が多い

食事とレストランにおける欧米の影響

- 料理に対する西洋の影響は、主にフランスとスペインに由来する
- モロッコでは飲酒は禁止されていない
- コミュニティカフェは全国でよく見られる
- ミントティーは通常モロッコ全土で見られる人気の飲み物である

食習慣

- ラマダンの30日間は飲酒が禁止される
- モロッコでは食べ物の浪費や廃棄はタブーとされ、余ったものは他の人に与えたり、家畜に食べさせたりするのが普通である

宗教的影響

- モロッコではイスラム教が国教であるため、伝統的なモロッコ料理に豚肉が使われることはない
- 動物性タンパク質の一部として、牛肉の消費が最も多く、次いで鶏肉である

出典:Plates Around the World (<https://sites.psu.edu/jmbpassion2/2018/01/09/hello-world/comment-page-1/#:~:text=Islam%20is%20the%20dominant%20religion,is%20also%20sacred%20in%20Morocco>)
My Moroccan Food (<http://www.mymoroccanfood.com/home/2015/4/16/the-origins-of-moroccan-food#:~:text=The%20arrival%20of%20the%20Arabs,%2C%20paprika%2C%20cumin%20and%20turmeric>)
U.S. Department of State (<https://www.state.gov/reports/2021-report-on-international-religious-freedom/morocco/#:~:text=The%20U.S.%20government%20estimates%20the,Jews%2C%20and%20Baha'>)
Restaurant Le Troli Ali Mur (<https://letrouaumur.com/blog/moroccan-cuisine-history/>)

王国食品衛生規制庁(ONSSA) は、モロッコにおける食品分野の規制、ラベル表示、および包装に関する規制、実施、および評価を管轄している

食品の輸入販売規制(1/2)

王国食品衛生規制庁(ONSSA)

- 王国食品衛生規制庁 (ONSSA) は、規格、表示、包装を含む地域の規制に対する製品の適合性を規制、実施、管理する責任を負う、農業省の管轄下にある独立した組織である
- ONSSAは、2009年3月に公報#5714として発行された法律#25-08の一部として設立された

関連する食品安全法

モロッコの関連する食品安全規制には以下が含まれる

- 法律#25-08、BO#5714、2009年3月：ONSSAの設立と所掌
- 法律#13-83、BO#3777、1985年3月：食品の品質管理と不正防止
- 法律#28-07、BO#5822、2010年3月：食品安全
 - 法令#2-10-473、BO#5984、2011年10月：法律#28-07の一般的な食品安全原則とトレーサビリティ規定を実施
 - 法令#2-12-389、BO#6152、2013年5月、および法令#2-18-44、BO#6684、2018年6月：法律#28-07の食品表示規定を実施
- 法律#1-75-292、BO#3388、1977年10月、法律#7-79、BO#3500、1979年11月、法律#25-96、BO#4482 1997年5月、法律#46-01、BO#4970 2002年1月、および法律#06-05、BO#5400、2006年3月：伝染性疾患に対する家畜の保護
- 注文番号593-17、BO#6680、2018年6月：輸入植物および植物製品の植物検疫

輸入要件、税関手続及び書類

- ONSSA検査官は、衛生植物検疫管理を実施し、食品及び農産物に関する現地の規制に適合しているか輸入品の適合性を確認する責任がある
- 輸入業者はONSSAの監督下にあるDirection de Contrôle de la Qualité (DCQ) に対応しなければならない
- DCQ検査官は、次の手順の後にのみクリアランスを発行する
 - 輸入関連書類の確認
 - 商品の管理状況の確認
 - 詳細な実験室分析の要否の確認
- これらの手順を実施後、DCQ検査官は、輸入品を通関することを許可する入国証明書を発行し、さらに税関職員は、DCQ検査官による許可に則り製品の国内販売・流通を許可する
- 通常の間接通関にかかる時間は1週間未満であるが、検査分析のためにサンプルが提出された場合、通関にかかる期間は最大8日であり、輸入業者は検査分析の費用を支払う必要がある

出典:United States Department of Agriculture

(https://apps.fas.usda.gov/newgainapi/api/report/downloadreportbyfilename?filename=Food%20and%20Agricultural%20Import%20Regulations%20and%20Standards%20Country%20Report_Rabat_Morocco_6-6-2019.pdf)

モロッコにおける表示要件は、法令#2-12-389等に準拠している。さらに、食品添加物の要件は、2015年の共同命令#1795-14等に従って管理されている

食品の輸入販売規制(2/2)

表示および追加要件

ラベリング:

- 一次食品については、ポスター、標識その他の適切な表示を貼付すること
- あらかじめ包装された食品については、以下の表示情報を明示的に記載する必要がある
 - 製品名
 - 材料一覧
 - 正味量
 - 製造業者/販売業者/輸入業者の名称、商標、完全な住所
 - 生産国
 - ロット番号
 - 認可または認可番号
 - 消費期限
 - 保存のための特別な保管条件
 - アレルギーを誘発する可能性のある成分情報
 - アルコール度数
 - 栄養情報
 - ロット番号

食品添加物:

- 食品添加物ガイドラインは、2015年1月の共同命令#1795-14、BO#6322bisに従って制定されており、一次製品および食品に使用する認可食品添加物のリストと制限を定めている

食品表示の例



画像出典: USDA FAIRS Annual Country Report

出典: United States Department of Agriculture

(https://apps.fas.usda.gov/newgainapi/api/report/downloadreportbyfilename?filename=Food%20and%20Agricultural%20Import%20Regulations%20and%20Standards%20Country%20Report_Rabat_Morocco_6-6-2019.pdf)

Webアンケート集計結果（モロッコ）

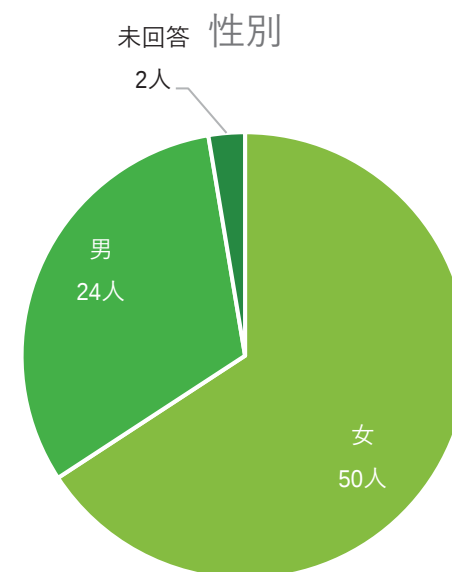
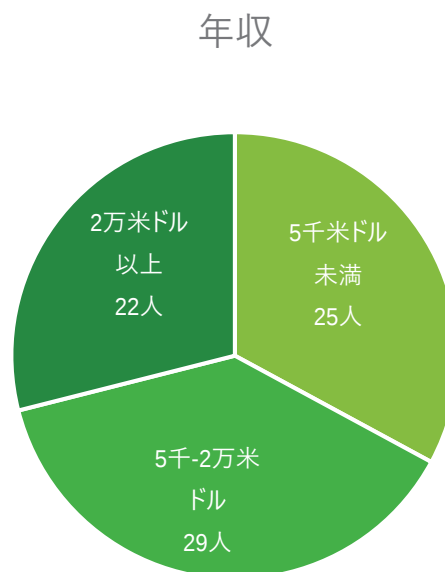
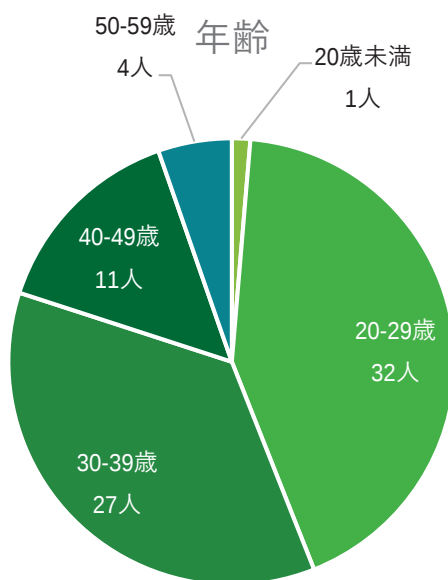


Web上のアンケートを行い、76名より回答を得た

モロッコにおけるアンケート結果①

① 回答者の属性

- 2023年1月23日から31日まで、モロッコにおける食文化に関してFacebook上の広告を通じ回答を募った（※）
- 合計して以下のとおり76名から回答があった。年齢は20歳から49歳が大部分であり、年収レベルは低収入層から高収入層まで分かれた



※モロッコの都市部在住の25～60歳の大卒以上で、食産業または日本食・日本に興味がある方を対象に、3種類の日本食イメージ画像とともにアンケートへの回答を呼び掛けた

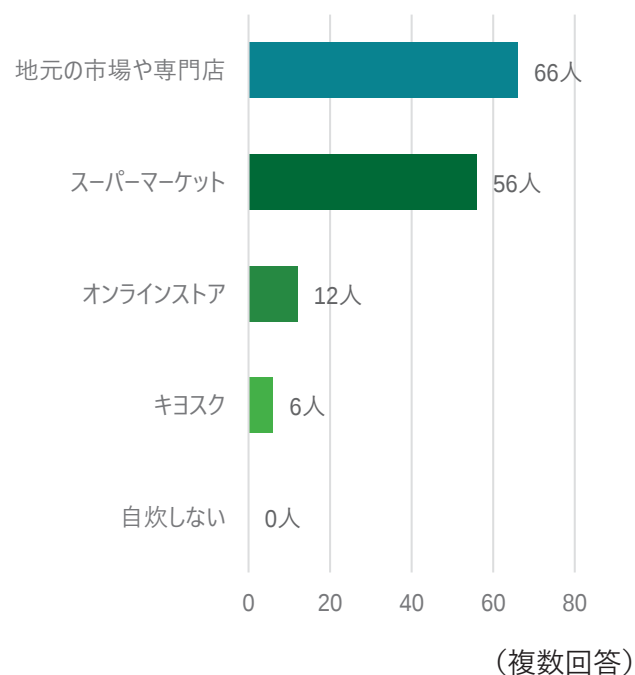
食材購入先としては地元の市場や専門店が多く、その際には味と安全性を考慮するとの回答が多くなっている

モロッコにおけるアンケート結果②

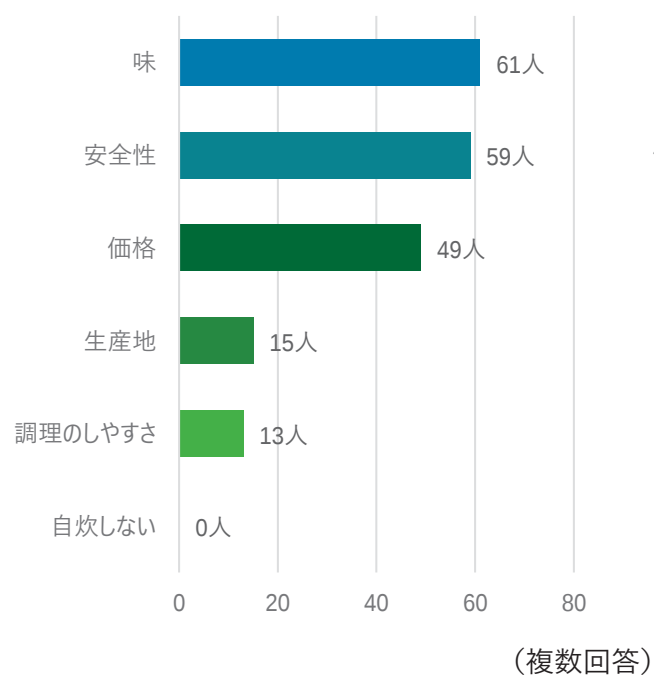
② 食材調達及びCOVID-19の影響

- ・ 自炊時の食材調達先としては、地元の市場や専門店が最も多く、スーパーマーケットが続いた
- ・ 食材購入時に考慮する要素としては味が最も多く、安全性、価格が続いた
- ・ COVID-19による食生活上の変化について複数選択で質問したところ、自炊やネットでの食材購入が増えた他、健康的な食事の増加との回答が多かった

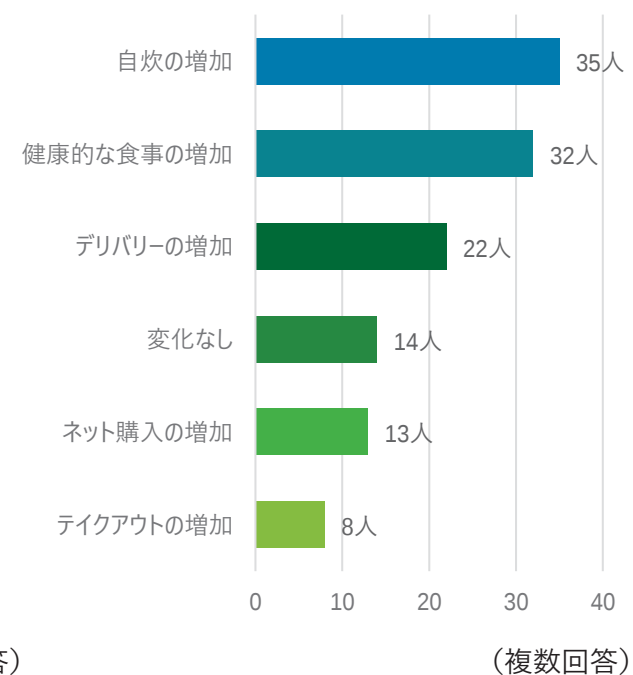
食材をよく購入する場所



食材購入時に考慮する点



コロナ禍による食生活の変化

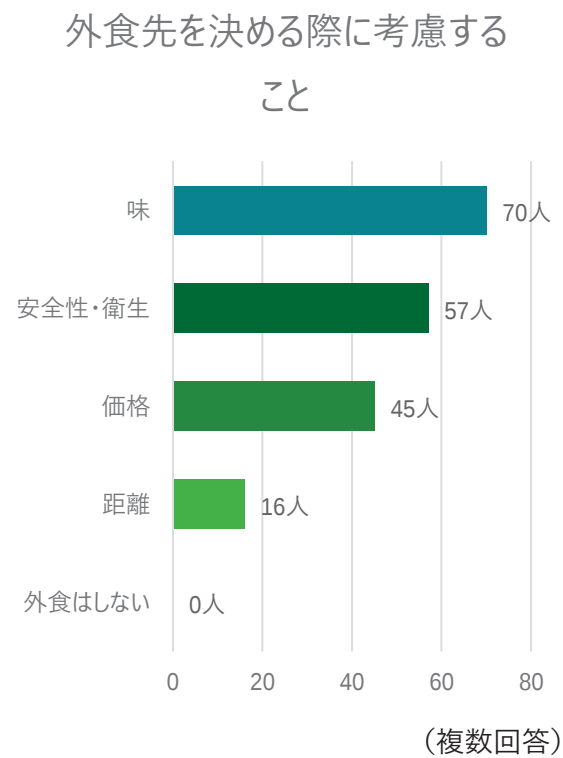
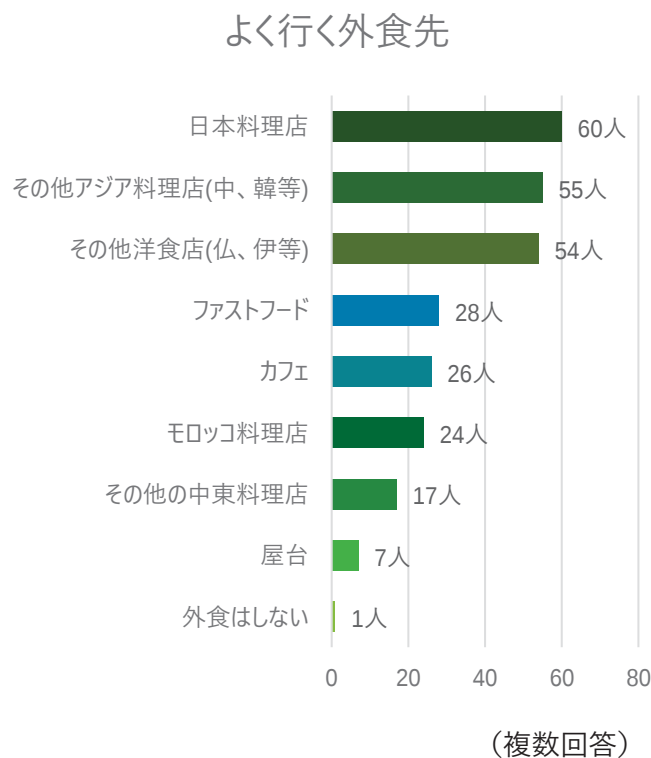
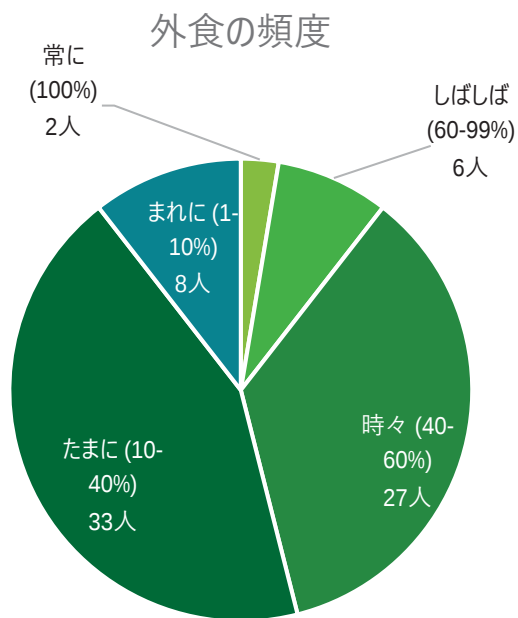


外食先としては中国、韓国、日本などのアジア料理店が多く回答され、その理由として「味」が多く挙げられた

モロッコにおけるアンケート結果③

③ 外食

- 外食の頻度は下図のとおりで、たまに（10-40%程度）外食するという回答が最多で、続いて時々（40～60%）が続いた
- よく行く外食先としては日本料理店が最多で、その他アジア料理店（中国、韓国、インド等）、洋食店（イタリアン、フレンチ等）、ファストフードと続いた。これは、日本に興味がある人も質問対象に加えたことによる可能性がある
- 外食先を検討する際に考慮する点としては、味が最も多く、安全性・衛生が次点となった



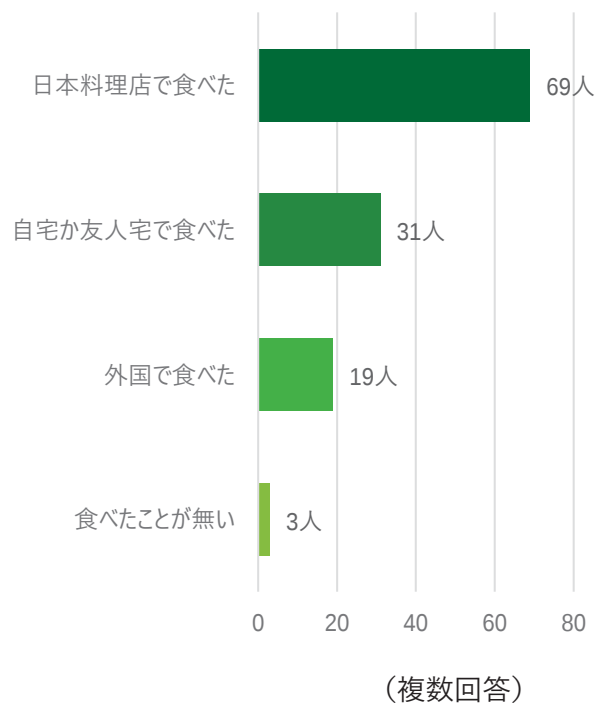
日本食を食べたことのある人は非常に多く、特に味やバランスへの評価が高かった

モロッコにおけるアンケート結果④

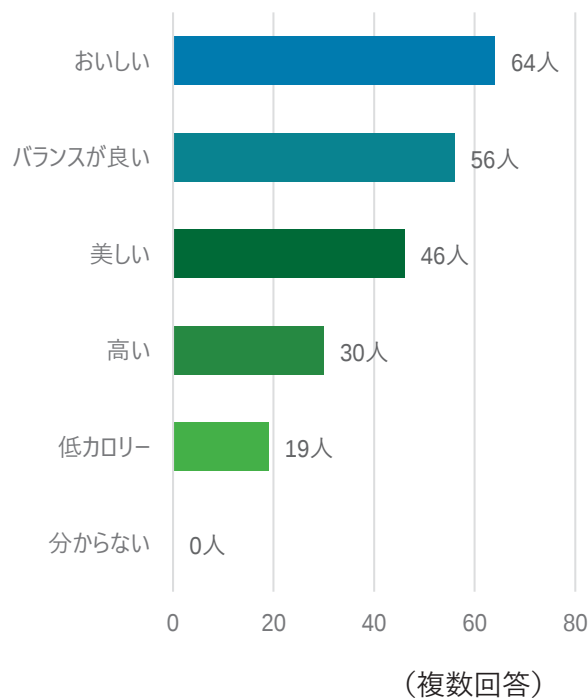
④ 日本食の経験

- 76名中73名が日本食を食べたことがあり、内訳はモロッコの日本食レストランが69名、自宅または友人宅が31名、海外のレストランが19名だった（複数回答）
- 日本食のイメージとしては、おいしいという回答が64名で最多で、バランスの良さ、美しさが続いた
- 他方、日本食を敬遠しう理由としては価格という回答が最も多く、店に日本食材が無い、近くに日本料理店が無いという回答も多く、アクセスが向上すれば利用される可能性が示唆された

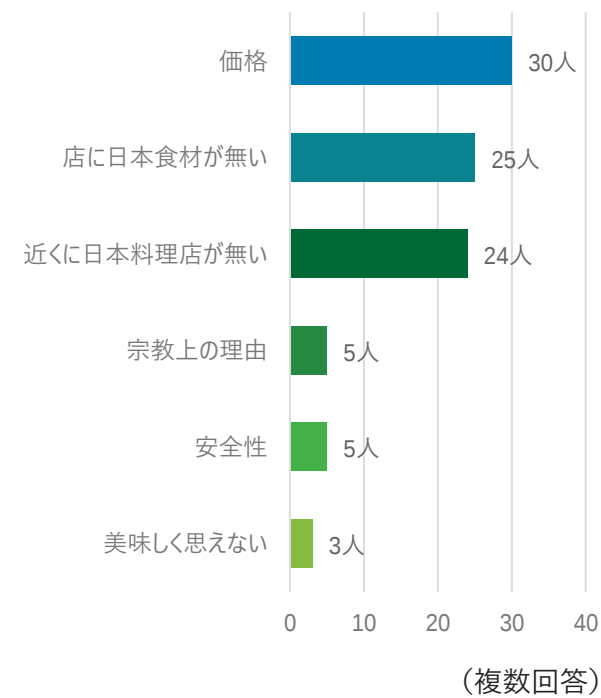
日本食の経験



日本食の印象



日本食を敬遠しう理由



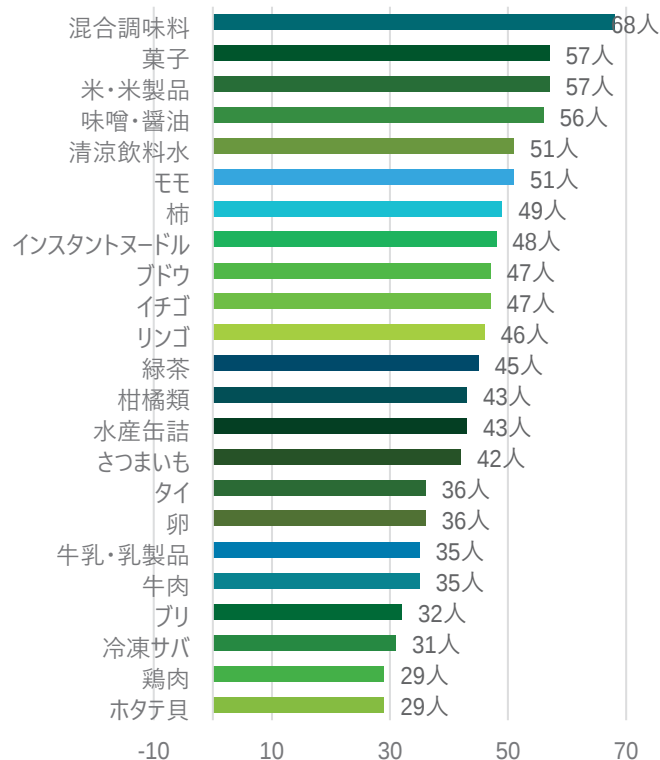
家では手軽な食材、レストランでは魚介類を食べてみたいという意見が多かった

モロッコにおけるアンケート結果⑤

⑤ 各食材の感想

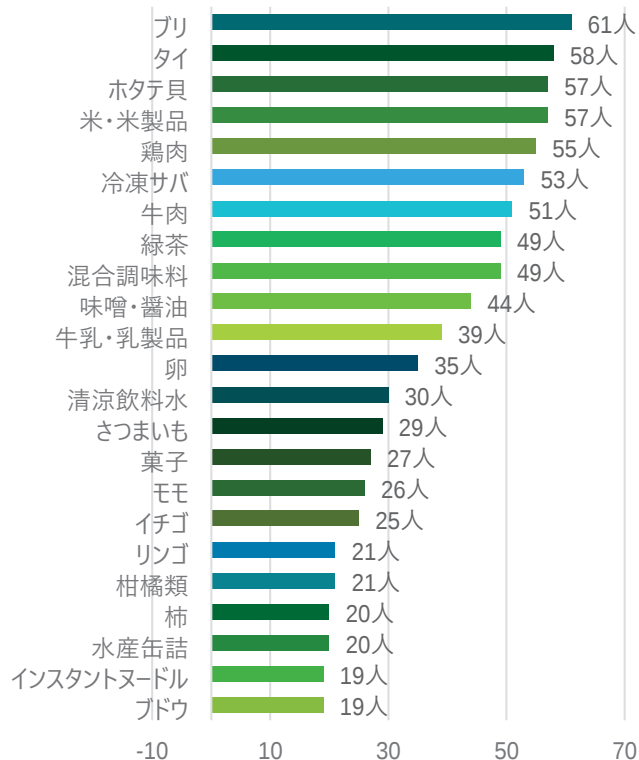
- ・ カタログに掲載している23食材（豚肉、アルコール飲料は除く）について家で食べたいか、レストランで食べたいか、食べたくないか聴取したところ、以下のとおりの回答となった（複数回答）
- ・ 家で食べたいものとしては、調味料、菓子、米・米製品、味噌・醤油、清涼飲料水など、使いやすいもの選ばれている。逆にレストランで食べたいものとしては魚介類、鶏肉、牛肉、冷凍サバなど調理が必要なもの選ばれている
- ・ 試したくないものとしては、水産缶詰、果物類、卵など、既にモロッコ市場に多くあるものが挙げられている

家で食べたい



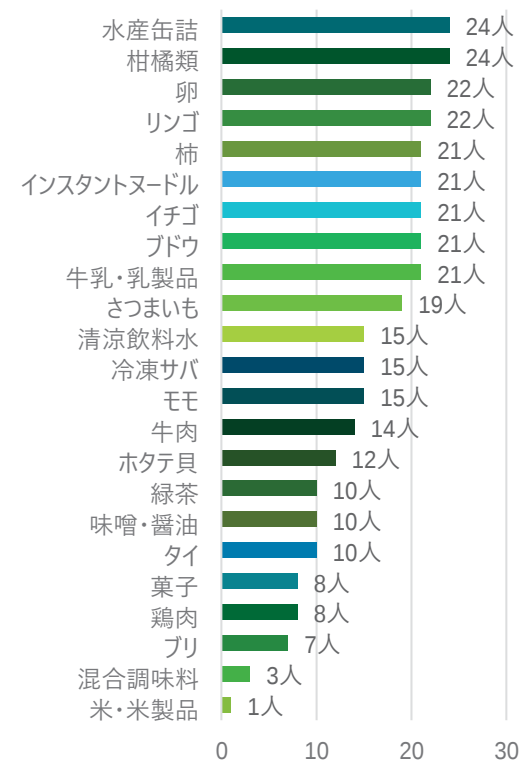
(複数回答)

レストランで食べたい



(複数回答)

特に不要・食べたくない

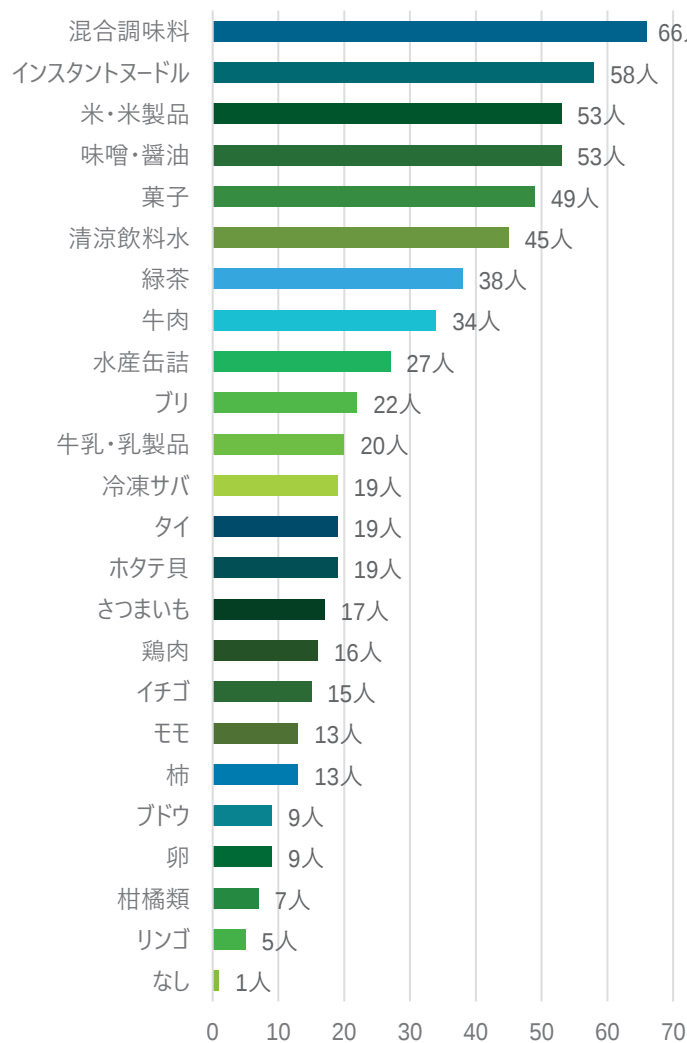


(複数回答)

モロッコ市場で成功しそうな食材としては、混合調味料が最も多く挙げられた

モロッコにおけるアンケート結果⑥

モロッコ市場で成功すると思う食材

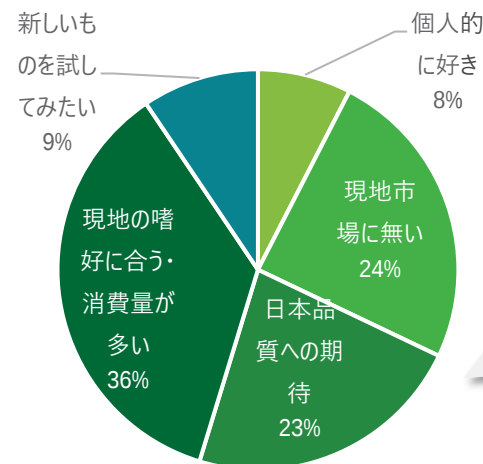


(複数回答)

⑥ モロッコで成功すると思う食材

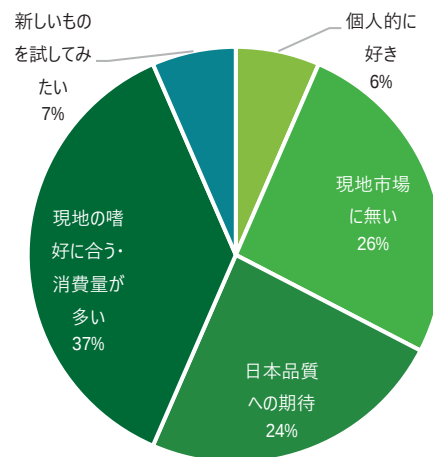
- モロッコで特に成功すると思う食材を聞いたところ、左図のとおり回答となった
- 上位の食材に関して、成功する理由の記載は以下のとおりである

1位：混合調味料：66人



「モロッコには日本のソースのような味のソースはない」
「モロッコ人は新しいことを試すのが大好き」
「新しいブランドを試してみたいと思う」

2位：インスタントヌードル：58人



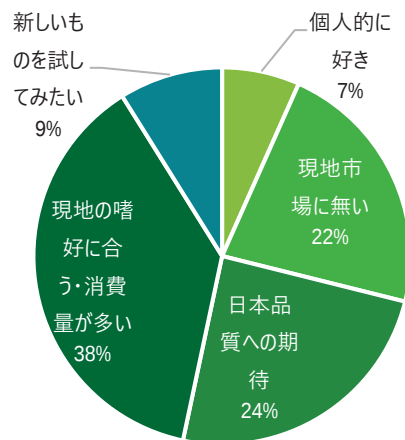
「モロッコでは、ライスや麺の選択肢は多くない」
「日本食を代表するものとして、人々は喜んで試食するだろう」
「より多くの種類が必要であり、消費者はそれらを味わい、より多く購入するだろう」

その他に、インスタントヌードルや米、味噌・醤油、菓子などが成功するとの意見が多かった

モロッコにおけるアンケート結果⑦

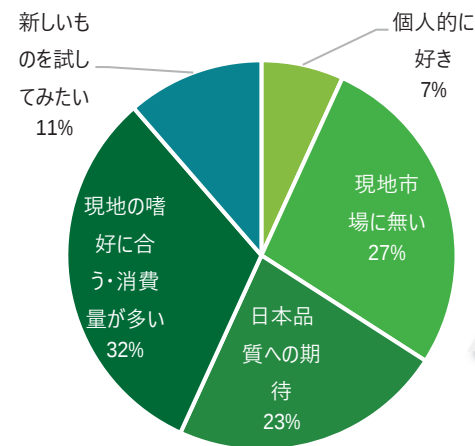
⑦ モロッコで成功と思う食材

3位：米・米製品：53人



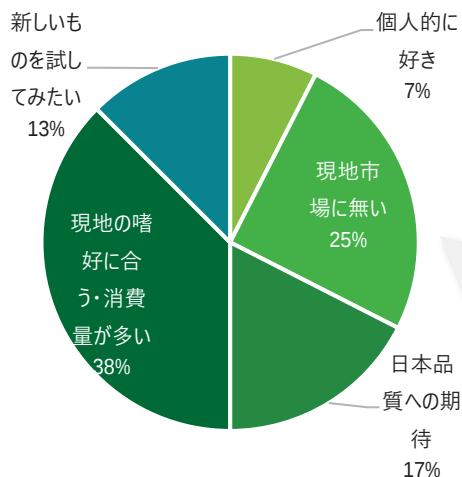
「寿司が大好きですっかりハマっている」
「家庭で和食を作りたい」

3位：味噌・醤油：53人



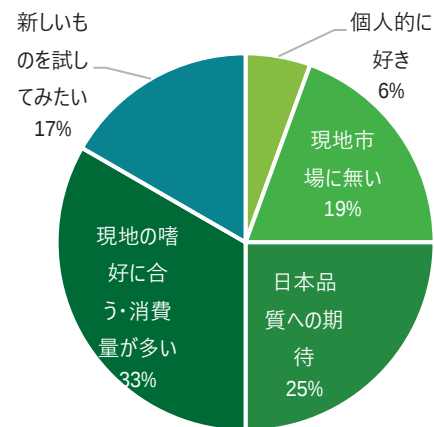
「健康的で風味があり、私たちの食習慣に簡単に取り入れることができる」
「日本の様々なテレビ番組で見かけると好奇心をそそられる」

5位：菓子：49人



「日本のお菓子は一番かわいい」
「YouTube、TikTok、Instagramのロールで日本料理を見ていますが、とても美味しそうなので、特におやつ、お菓子、餅を食べてみたいと思う」

6位：清涼飲料水：45人

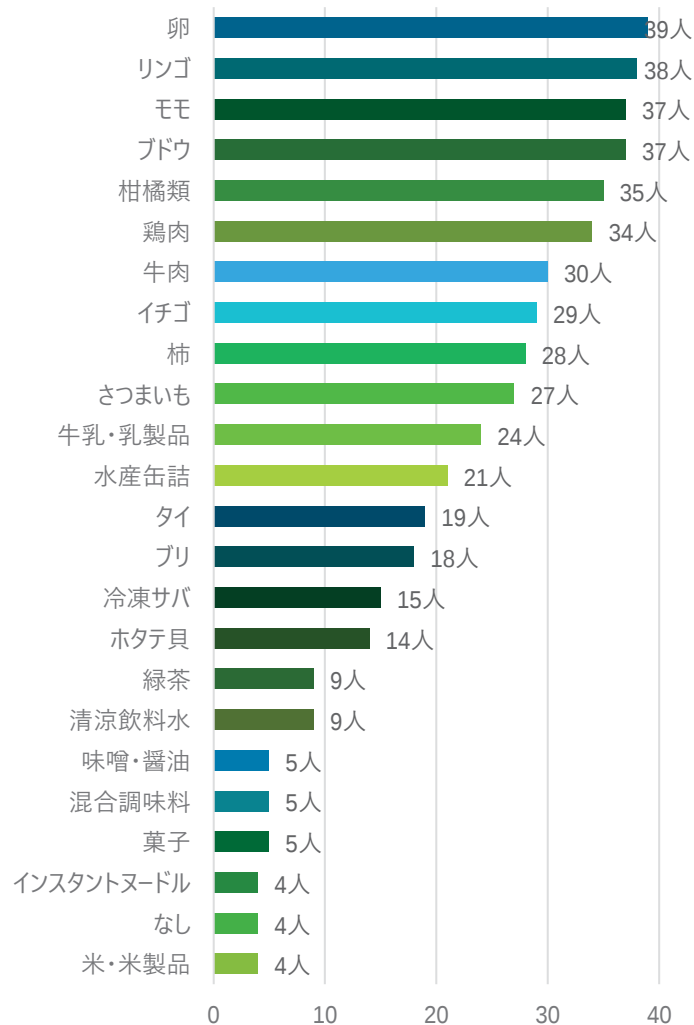


「簡単で準備不要」
「多くのモロッコ人が日本の文化やアニメに興味を持っており、試してみたいと思っている」

卵や果物など、既に現地産が安いものについては成功しないのではとの意見が多かった

モロッコにおけるアンケート結果⑧

モロッコ市場で成功しないと思う食材

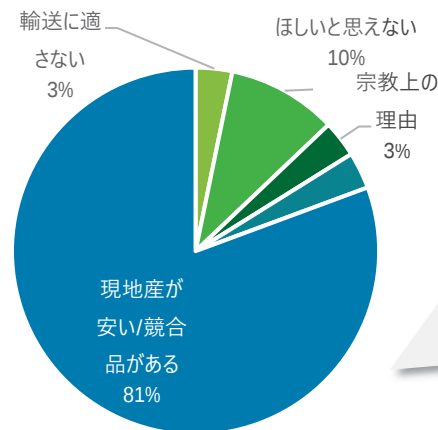


(複数回答)

⑧ モロッコで成功しないと思う食材

- モロッコで特に成功しないと思う食材を訊いたところ、左図のとおり回答となった
- 上位の食材に関して、成功しないと思う理由の記載は以下のとおりである

1位：卵：39人

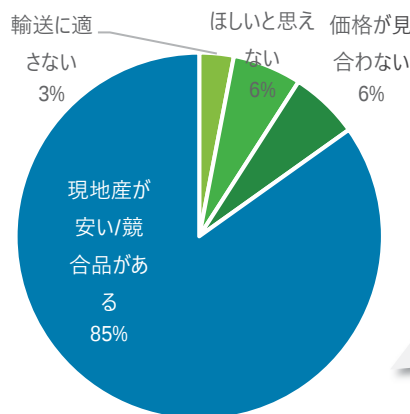


「モロッコ人は海外の卵や乳製品を好んで食べない」

「地元産の卵が安い」

「地元のものがある」

2位：リンゴ：38人



「モロッコは北アフリカの果物の最大の輸出国だ（ママ）」

「ここにはもうおいしい果物がある」

「地元産が存在し、はるかに安い」

※他の果物もほぼ同様の結果。

和牛や菓子について特に輸入してほしいという声が挙げられた

モロッコにおけるアンケート結果⑨

⑧ 自由コメント

プロモーションに関するコメント (Promotion)

- 商品売り込むには、文化を売り込むのが一番だ
- 日本食品を扱う店が増えて選択肢が多くなればおのずと人々は好きになるし、それらの製品が素晴らしい広告になるだろう
- もっと健康的な日本食を食べて、文化を知ろうとするという

期待する販売形態 (Place)

- モロッコでは良質で中価格の日本料理店チェーンが大成功すると思う。なぜなら、ここには本当に良いアジア料理がないから
- 日本式のコンビニは革命的になるだろう
- 伝統的な和食を重視し、地元の味を少し考慮する
- モロッコに美味しいラーメン屋が絶対ほしい

価格 (Price)、その他

- 手頃な価格にしてほしい (※同旨多数)
- 日本の製品は健康効果や味が評価されると思うし、少しでも高すぎなければもっと評価されるかもしれない
- 日本の食べ物はおいしくてヘルシー
- モロッコ市場に日本食品が必要
- 日本食はアジアの中でもトップクラスの食べ物であり、実際にアジアだけでなく世界的にも日本料理はよく知られている。一度食べればきっと気に入ると思う
- モロッコでは和食は人気があり、個人的にも大好き

期待する食材 (Product)

- 和牛...いいですね
- 和牛が食べたい
- ここモロッコでは、赤身肉は特別な文化的料理であり、神戸牛や和牛のグレードの牛肉には、まさに適した部分があると思う
- 素晴らしい日本のお菓子などを売っているカサブランカの日本市場をもっと見たい
- ここで日本のお菓子を売ってください
- モロッコでもっとおいしい日本料理が食べられるように、ここモロッコで手に入る日本のスナックや清涼飲料水がもっとあってほしいし、健康的な食べ物も安い値段であってほしい。ありがとう
- 清涼飲料水やスナック菓子は、日本のものは種類や品質が素晴らしいので、マグレブ諸国全体で成功する可能性がある
- 調理済みの食品は大成功するだろう
- 日本料理を作るには、だしなどの材料がもっと必要だ
- ブドウ、メロン、マンゴーなどの日本の高級フルーツは、間違いなく一部の市場セグメントで人気を得るだろう
- 低品質の寿司はたくさんありますが、他の日本食は未発展。また、日本の食料品はあまり普及していない
- モロッコ人は日本とその文化を愛し、その食べ物を喜んで食べてみますが、果物や魚のような新鮮な食材については、市場に既にあるので買うことはないと思う
- モロッコ市場について言えば、日本の製品は健康効果や味が評価されると思うし、少しでも高すぎなければもっと評価されるかもしれない

日本からの輸出可能性があると考えられる食品の 市場と嗜好（モロッコ）

一部の輸出検討対象品目における市場概況



検討対象品目



緑茶



米・米加工品



菓子類

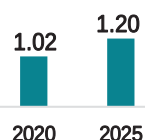


調味料

緑茶

ミント入り緑茶はこの国で最も好まれるお茶である

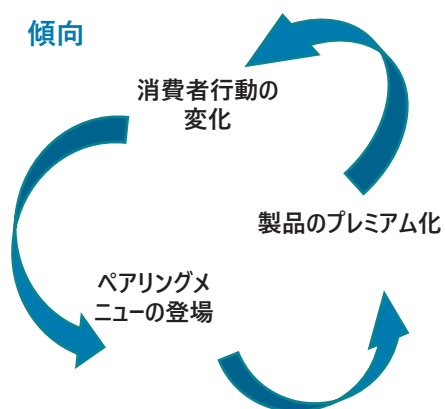
売上高 (10億米ドル)



市場は2020-25年の間、年率3.39%で成長すると予想されている

モロッコのお茶市場は、2020年以降、茶の単位あたりの価格が上昇しているため、成長が鈍化すると予想される

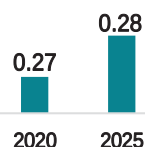
傾向



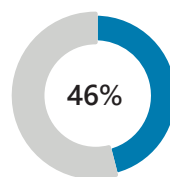
米と米製品

長粒種のバスマティ米と非バスマティ米がそれぞれ好まれている

売上高 (10億米ドル)

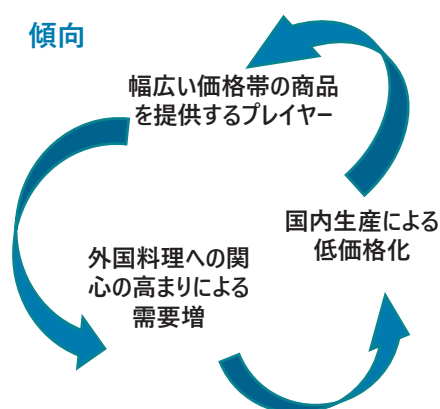


市場は2020-25年の間、年率7.6%で成長すると予想されている



米の輸入のうち、主にインドから、長粒種のバスマティ、シャープティ、パーボイルド米が輸出されている

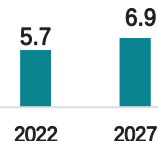
傾向



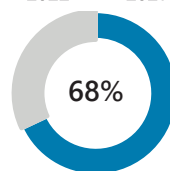
菓子

菓子製品の売上高は保存菓子やケーキが多く、チョコレートが続く

売上高 (10億米ドル)

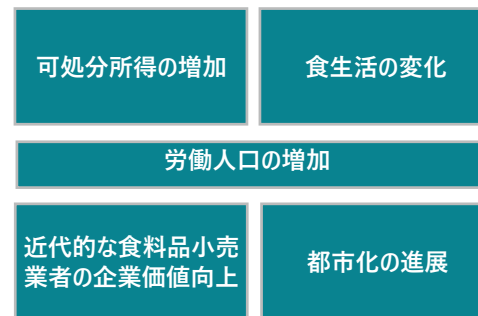


2022年から27年にかけて年率4%の成長が見込まれる



2022年の市場の内訳は、保存菓子とケーキが68%を占める

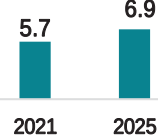
傾向



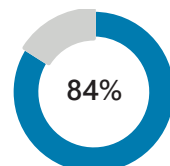
ソース・調味料

モロッコ料理で使われる4つの最も基本的なスパイスは、クミン、黒胡椒、ショウガ、ウコンである

売上高 (10億米ドル)

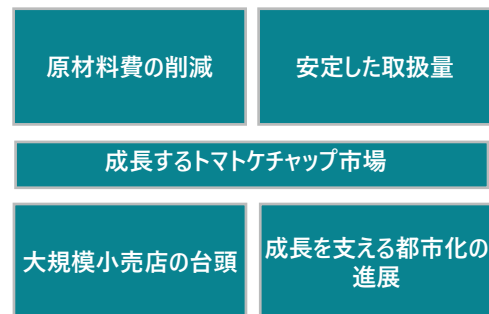


同市場は2021年から25年にかけて年率7.12%で成長すると予想される



2022年の市場の内訳は、マスタード、醤油、香辛料、料理用ハーブが84%を占める

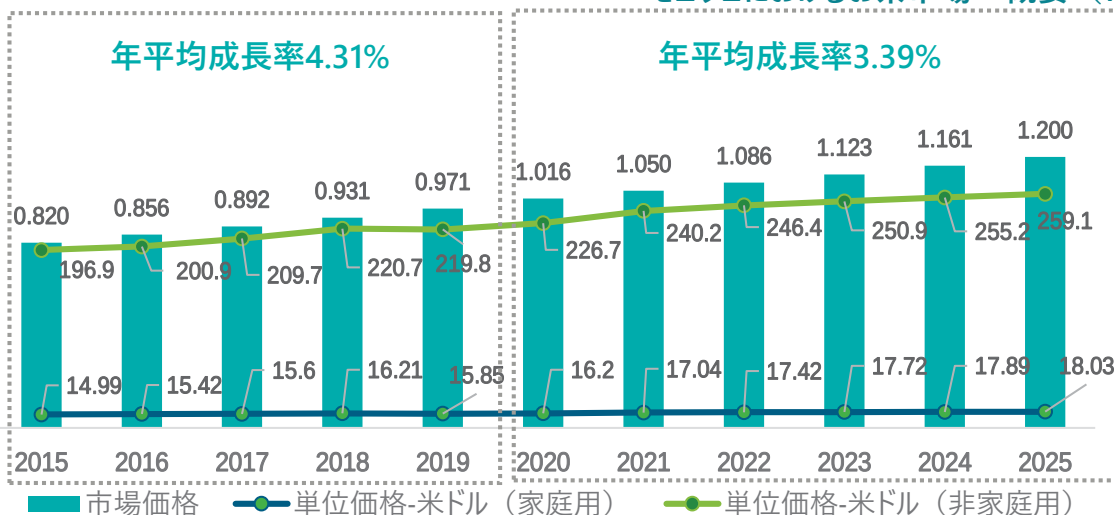
傾向



モロッコで最も消費されるお茶は、伝統的なミント入りの緑茶である

一部の輸出検討対象品目における市場概況（緑茶）

モロッコにおけるお茶市場：概要（10億米ドル）



- モロッコ茶市場の市場価値は2025年までに約12億米ドルに達すると予想されている
- 2015年の一人当たりの平均消費額は、金額ベースで23.90米ドルであった。その後の5年間で年率2.93%の年平均成長で増加した。同指標は、中期的（2025年まで）に年2.23%の年平均成長で減速すると予想されている
- モロッコのお茶市場の年平均成長は、2020年以降の単位あたりの価格上昇が一因となって、2020年以降は鈍化すると予想されている

モロッコにおけるお茶市場の動向

消費者行動の変化

高品質製品への関心の高まり

健康的な飲料としての認識

プレミアム化

緑茶、機能性植物飲料、ハーブティーの需要増加

ブランドのストーリーと信頼性への関心

ティーペアリングメニューの登場

ユニークな製品への関心

飲み放題ドリンクやアイスティーなど派生商品の開発

モロッコ紅茶市場の選好

- 緑茶を中心とした飲料の伸び率は2017-21年に最も高かった。
- 緑茶は昔から人気のある飲料であるが、価格に敏感な消費者の増加により人気が高まっている

出典: Market Research.com (<https://www.marketresearch.com/Williams-Marshall-Strategy-v4196/Morocco-Tea-Impact-COVID-Medium-13624960/>)

(<https://www.marketresearch.com/Euromonitor-International-v746/Tea-Morocco-32852754/>)

University Libraries (<https://digitalscholarship.unlv.edu/cgi/viewcontent.cgi?article=2855&context=rtlds>)

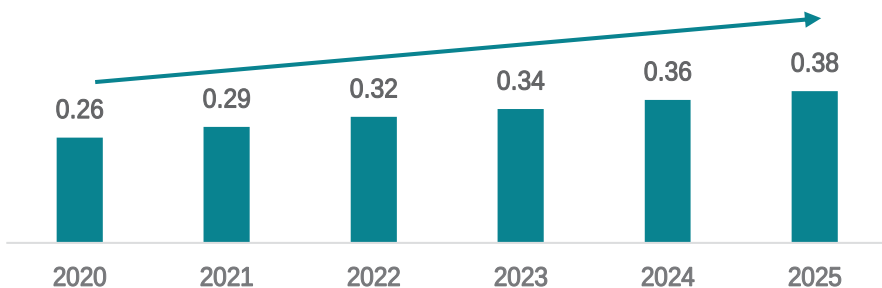
Euromonitor International (<https://www.euromonitor.com/tea-in-morocco/report#>)

Statista (<https://www.statista.com/outlook/cmo/hot-drinks/tea/morocco#price>)

長粒種のバスマティ米および非バスマティ米の国内消費は主要輸入相手国(インド、中国、パキスタン)からの輸入に依存しており、特にインドは輸入需要の46%を賄っている

一部の輸出検討対象品目における市場概況（米）

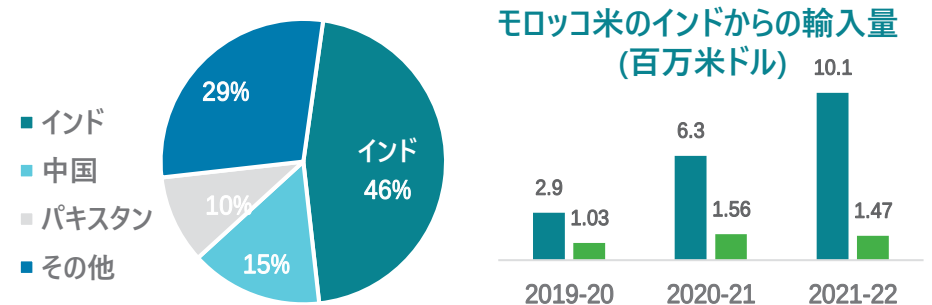
モロッコ米市場の収益：概要 (10億米ドル)



- 2020年から2025年にかけて年平均成長率6.4%で増加すると予想される

モロッコの米輸入構造 (2021年)

モロッコは米市場を輸入に大きく依存している。インドから輸出される米の品種の大部分は、大まかにソナ・マスーリ、バスマティ、非バスマティに分類される



モロッコの米市場の今後の動向

幅広い価格帯の製品を提供するプレイヤー



より幅広い消費者にアピールするために様々な価格帯を提供するプレイヤーによる二極化が進む

外国料理への関心の高まりによる需要増



外国料理への関心の高まりにより、需要の増加が見込まれる。メーカーは伝統料理と外国料理の味の違いをアピールすることが増える

国内プレイヤーによる低価格化



標準的で価格競争力のあるブランドは、品質差のほとんどない高価な輸入ブランドよりも人気を得る

- インドからの非バスマティ米の輸入は、2019-20年から2021-22年にかけて年平均成長 86.62%と劇的に増加した
- 非バスマティ米の輸入はインドからのものを含む
 - 長粒ノンバスマティ米
 - シャルバティ米
 - パーボイルド米
- インドからのバスマティ米の輸入は、年平均成長で19.47%増加したが、2021-22年度は前年比5.8%減少した

消費者は野菜やクスクス、パン用小麦を好み、一般的に米は主食としては食べられていない

出典：Index Box (<https://www.indexbox.io/store/morocco-rice-market-report-analysis-and-forecast-to-2020/>)

Agri Xchange (https://agriexchange.apeda.gov.in/indexp/Country_description.aspx?ctry=04265) (https://agriexchange.apeda.gov.in/countrysearchnew/prdwise_expctrydetails.aspx?pcode=100630&year=2020&ctryn=MOROCCO&ctryid=04265&menuid=0)

Index Mundi (<https://www.indexmundi.com/agriculture/?country=ma&commodity=milled-rice&graph=domestic-consumption>)

Agricultural and Processed Food Products Export Development Authority, India (<https://apeda.gov.in/apedawebsite/>)

SK Exports (<https://riceexporters.co/blog/difference-between-Basmati-and-non-Basmati-rice/#non-Basmati-rice-varietiesnbsp>)

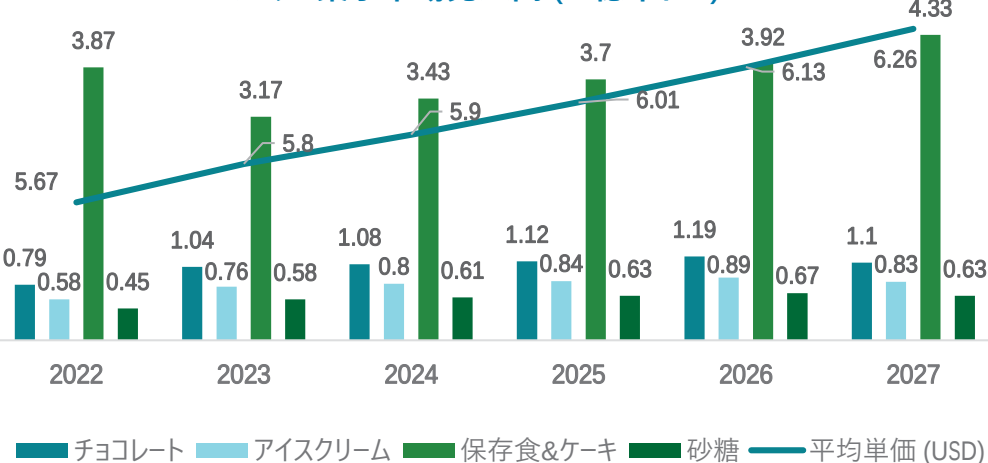
World-Grain.com (<https://www.world-grain.com/articles/16313-focus-on-Morocco>)

Euromonitor International (<https://www.euromonitor.com/rice-pasta-and-noodles-in-morocco/report#>)

モロッコの菓子市場の収益の3分の2を保存菓子とケーキ類が占め、チョコレートがそれに続く

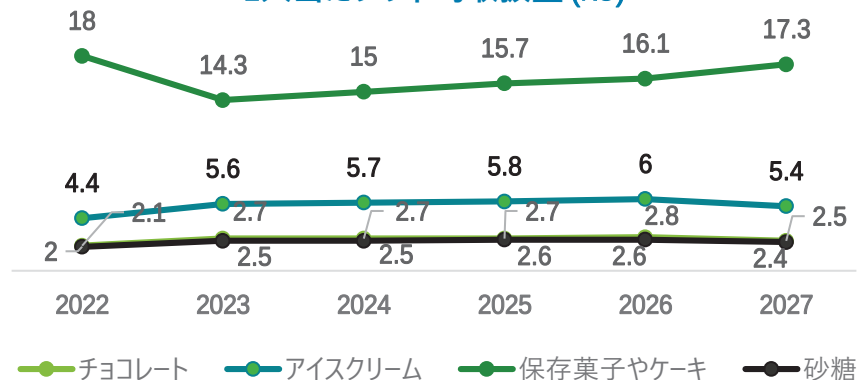
一部の輸出検討対象品目における市場概況（菓子）

モロッコ菓子市場売上高 (10億米ドル)



- 2023年、モロッコの菓子市場は約55億米ドルの収益を上げ、2023年から2027年にかけて年平均成長 5.56%で成長すると予想されている
- モロッコの菓子の平均単価は、同期間に年平均成長で1.5%上昇すると予想されている
- 2022年から2027年を通して、保存食のペストリーやケーキは市場の約2/3を占めている。同時期に最も急速に成長すると予想されているのはアイスクリーム（年平均成長7.4%）で、砂糖（年平均成長6.96%）、チョコレート（年平均成長6.8%）がこれに続く

1人当たりの平均取扱い量 (KG)



モロッコの菓子トレンド

可処分所得の増加



平均所得の拡大

小売業の機会増加

大規模スーパー等の台頭

労働人口の増加



総就業者数は2020年から2023年で年平均成長 2.5%増加

都市雇用率
35.1% (2021)

食生活の変化



加工食品の消費拡大

伝統食の消費の減少

出典: Statista (<https://www.statista.com/outlook/dmo/ecommerce/food/confectionery-snacks/morocco#revenue>) (<https://www.statista.com/statistics/1266058/employment-rate-in-rural-areas-in-morocco/>) (<https://fr.statista.com/outlook/dmo/ecommerce/food/confectionery-snacks/ghana#revenue>)

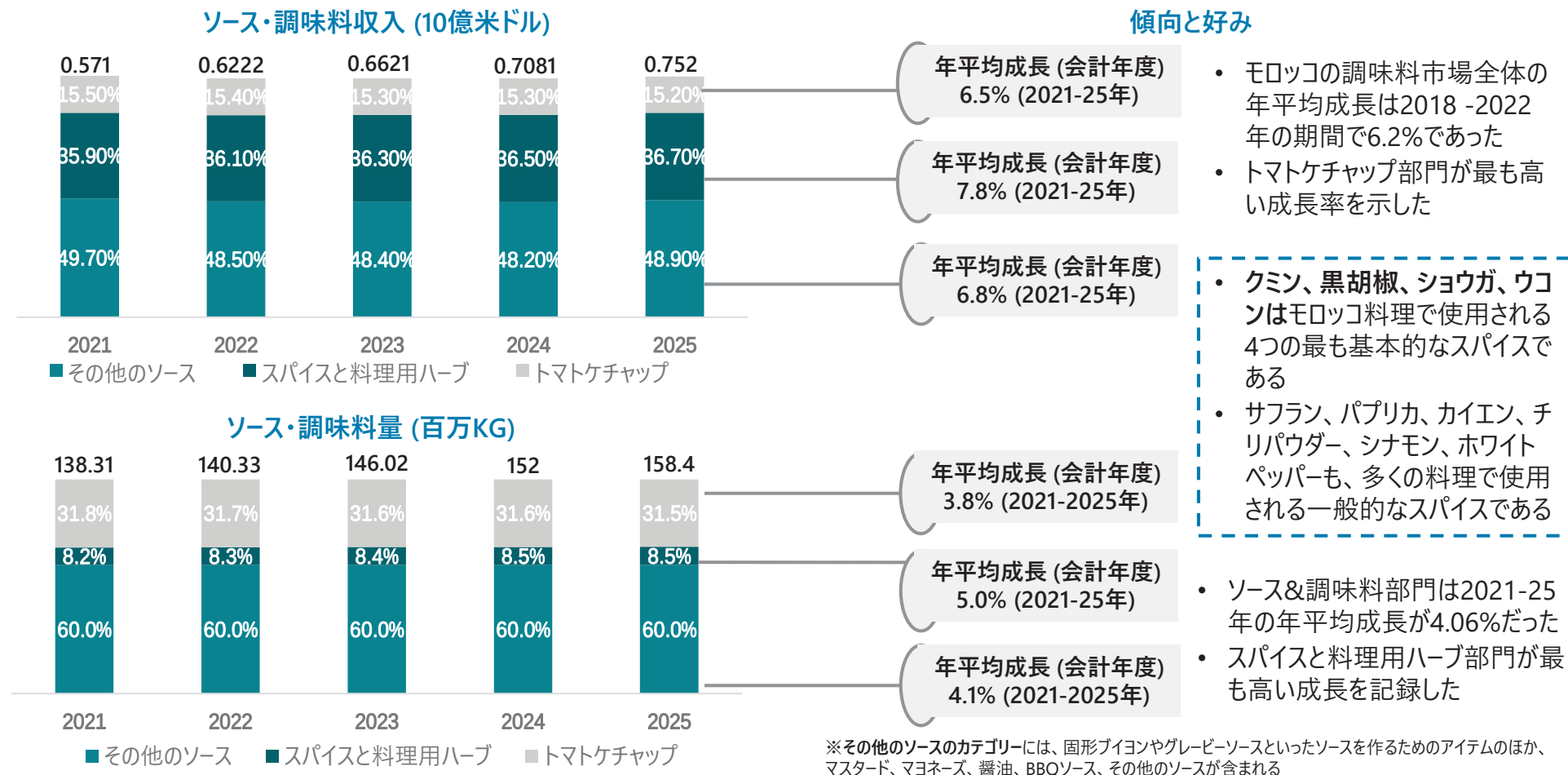
Lucintel Insights that Matter (<https://www.lucintel.com/Morocco/opportunities-for-the-confectionery.aspx>)

Oxford Business Group (<https://oxfordbusinessgroup.com/reports/morocco/2018-report/economy/pocket-money-rising-incomes-are-encouraging-retailers-to-expand-online-and-outside-of-major-cities>)

Morocco World News (<https://www.moroccoworldnews.com/2018/07/250623/healthy-traditional-diets-declining-Morocco>)

世界的および地域的な作物の過剰生産能力により、製造業者の原材料コストが低下し、原材料価格の下落が起きている。この傾向は2023-2027年も続くと予測されている

一部の輸出検討対象品目における市場概況（調味料）



出典: Index Box (<https://www.indexbox.io/store/morocco-mixed-condiments-sauces-and-seasonings-market-analysis-forecast-size-trends-and-insights/>)
 Riad El Zahar (<https://www.riadelzahar.co.uk/news/the-authentic-moroccan-spices-of-Marrakech>)
 Morocco Travel Guide (<https://touringinmorocco.com/moroccan-spices-and-seasonings/>)
 Statista (<https://www.statista.com/outlook/cmo/food/sauces-spices/Morocco>)